

2019年度事業報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

2019年度は当団体が「一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟」として法人化してから3回目の年度である。

また、「競技力強化のための今後の支援方針(鈴木プラン)―2020年以降を見通した強力で持続可能な支援体制の構築―」(2016年10月・スポーツ庁)においては、これまでの「活躍基盤確立期」における各NFの成果を踏まえた「メダル獲得の最大化」の考えのもと、支援を柔軟かつ大胆に重点化する「ラストスパート期」であった。

当連盟は「国際大会に於いて、恒常的にメダル獲得できる選手の強化育成」のための「強化・育成選手の一貫指導体制の確立と指導者・スタッフの長期的育成」という当連盟強化戦略プランにのっとり、選手・スタッフ一同、目標達成とそれを支えるための組織基盤整備に取り組んできた。

2019年度も各方面より多大なるご支援・ご後援や、あたたかいご声援をいただき、積極的に活動を行うことができた。2020年東京パラリンピックにおいては、金メダルを含む合計3個のメダル獲得を目標に掲げている。

1、組織基盤強化事業

(1) JPC 関連会議等への参加（加盟団体選手強化体制整備事業）

JPC 関連会議等への参加により、情報の共有や現状確認・各団体との交流等を行った。

- ・2019年4月20日（土）「平成31年度第1回JPC加盟競技団体会議」/JISS
スタッフ2名参加
- ・2019年7月15日（土）「JPC強化ヒアリング（JPC会議）/JPC事務所 スタッフ1名参加
- ・2019年2月7日（月）「協働チーム・JPCヒアリング」/JISS スタッフ2名参加

(2) オリパラ協議会への参加

東京2020組織委員会による協議会への参加。競技団体との情報の共有を行った。

- ・2019年6月18日（火）晴海トリトン スタッフ1名参加
- ・2020年1月21日（火）晴海トリトン スタッフ1名参加

(3) スポンサー獲得事業

経営基盤を強化するためのスポンサー獲得事業に関しては、2018年度の3社を踏まえて目標を3社獲得に設定した。

主な広報活動に関しては「9、広報」の項で詳述するが、昨年度日本財団パラリンピックサポートセンターの助成により作成したバックボードやパンフレット等も功を奏し、今年度は新規スポンサー（サプライヤ）2件、継続スポンサー計3件のご支援を頂戴することができた。

新規サプライヤ契約 酒井医療株式会社様・WIN&WIN様

(4) 会員数

2019年度会員数：236名

詳細は「9、広報活動」にて述べるが、今年度は公式HP・facebookに加えtwitterやInstagramによる情報発信も開始し、より身近に選手の活躍を感じてもらえるよう努めた。

2、強化（競技力向上）事業

2018年より海外遠征を計画的に事業化し、海外で勝つこと、勝つためのコンディションづくり等を行ってきた。今年度も強化戦略をもとに国際大会で常にメダル争いできる環境作りを目指し、選手強化及びスキルアップを掲げ、強化スタッフの増員も行った。

東京2020パラリンピックでのメダル獲得のためには、連盟・強化スタッフ・選手間の良いコミュニケーション・信頼関係の構築が一層必要となる。

(1) 強化部・強化スタッフ

強化戦略をもとに強化計画の立案を行い、選手の情報を共有し、個々に合ったトレーニングメニューを作成し実行した。

① 強化会議の開催（加盟団体選手強化体制整備事業）

●第1回 2019年8月1日（木）監督ヘッドコーチ会議拡大強化会議/NTC スタッフ2名

●第2回 2019年8月28日（土）強化会議 /岩手県盛岡市ふれあいランド岩手

② 強化スタッフ（JPC強化・助成事業）

今年度は専任コーチ2名を中心に、専任トレーナー1名・外部トレーナー3名を加えたメンバーで、コンディション作り・強化練習等を行った。

専任コーチ：島田隆之・末武寛基

専任トレーナー：石川舞

(2) 強化指定選手制度・育成指定選手制度の運用（選手強化活動事業）

2019年度強化指定選手14名

リカーブ（RC）男子：上山友裕・長谷川貴大・小野寺公正

リカーブ（RC）女子：重定知佳・中西 彩

コンパウンド（CP）男子：安島 裕・宮本リオン・大塚忠胤

コンパウンド女子（CP）：永野美穂・平澤奈古・篠原 彩

W1男子：仲 喜嗣・大山晃司（育成）

W1女子：岡崎愛子

※なお2019年度強化指定選手により、今年度は以下2つの日本身体障害者アーチェリー連盟記録が更新された。

RC女子 70mラウンド 重定選手 634点

W1男子 50mラウンド 大山選手 633点

(3) 国内強化・選手選考（選手強化活動事業）

① 強化合宿

計 5 回の強化選手の合宿を行った。

●第 1 回 2019 年 5 月 13 日（月）～ 5 月 17 日（金）浦安市運動公園アーチェリー場/ 選手 13 名・スタッフ 4 名

前年度に引き続き、東京 2020 大会の会場に近く、宿泊等海外遠征に近い状況での実戦的練習が可能で浦安市運動公園において合宿を行い、浦安市の全面的協力を頂きながら成功裏に終わらせることができた。地元小学生とのパラアーチェリー体験交流会も開催、詳細は「9、広報活動」参照。また、医療機器メーカーによる低周波治療器等の説明・体験会も開催され、その後の導入・サプライヤ契約につながった。

●第 2 回 2019 年 7 月 22 日（月）～ 7 月 26 日（金）味の素ナショナルトレーニングセンター
選手 14 名・スタッフ 3 名

●第 3 回 2019 年 10 月 7 日（月）～ 10 月 11 日（金）味の素ナショナルトレーニングセンター
選手 14 名・スタッフ 8 名

●第 4 回 2019 年 12 月 1 日（日）～ 12 月 5 日（木）味の素ナショナルトレーニングセンター
選手 13 名・スタッフ 6 名

●第 5 回 2020 年 2 月 12 日（木）～ 2 月 15 日（日）味の素ナショナルトレーニングセンター
選手 13 名・スタッフ 6 名

② 2020 年度強化選手国内選考（選手強化活動事業）

2019 年 11 月 13 日（水）・14 日（木）NTC 拡充棟（イースト）5 階アーチェリー場/
選手 15 名・スタッフ 7 名

上記結果と強化部会の協議により、以下を 2020 年度強化指定選手として発表した。

リカーブ男子：長谷川貴大・上山友裕・寺田博之

リカーブ女子：重定知佳

コンパウンド男子：宮本リオン・藤井正臣・大塚忠胤

コンパウンド女子：永野美穂・平澤奈古

W1 男子：仲 喜嗣

W1 女子：岡崎愛子

③ 東京 2020 国内最終選考会（選手強化活動事業）・・・**コロナ過により中止**

2020 年 3 月 27 日（金）から 29 日（日）NTC 拡充棟（イースト）5 階アーチェリー場

※各カテゴリにて開催国枠各 1 を争う（288 射）

リカーブ男子：長谷川貴大・寺田博之

コンパウンド男子：宮本リオン・藤井正臣・大塚忠胤

コンパウンド女子：永野美穂・平澤奈古

3/24（火）東京オリンピック・パラリンピック延期（2021 年夏迄）が IOC より発表され、WA からの正式な発表を 4 週間後に待つことになる。同時に国内の感染拡大防止を緊急事態宣言として都道府県より発表され終息の目途が立たない現状を踏まえ、今後の合宿も 7 月迄白紙（中止）とした。また、6 月の世界最終予選大会（チエコ）も延期になったので、全ての選考会を見直す。

(3) 国際大会派遣（選手強化活動事業）

今年度は入賞選手を輩出するに留まらず、出場した全ての国際大会においてメダルを獲得することができた。

4月の「5th Fazza Para Archery World Ranking Tournament」では2つの個人金メダル、「EUROPEAN CUP」では2つの個人銅メダル。6月の世界選手権「World Archery Para Championships」ではW1ミックスで銅メダルを獲得、この試合で東京2020パラリンピックに4名が出場内定、host countryを4枠獲得した。

10月の「Asian Para Archery Championships & CQT」では1つの個人金メダル・2つの団体銅メダルを獲得、女子RCにおいては国内パラ記録が更新された。2020年3月の「パラアーチェリー世界ランキングトーナメント」では1つの個人金メダル・1つのミックス戦金メダル・団体戦で銅メダルを獲得。

- 5th Fazza Para Archery World Ranking Tournament 2019年4月10日（水）～16日（火） UAE/ドバイ 派遣：選手10名・スタッフ8名
主な結果：上山 RC 金メダル・篠原 W1 金メダル
- PARA ARCHERY EUROPEAN CUP 2019年4月28日（日）～5月4日（土）/イタリア
派遣：選手5名・スタッフ6名
主な結果：上山 RC 銅メダル・重定 RC 銅メダル・MIX（上山・重定）銅メダル
- World Archery Para Championships 2019年6月2日（日）～9日（日）/オランダ
派遣：選手13名・スタッフ11名
主な結果：仲喜嗣・岡崎愛子 W1 MIX（混合）銅メダル
※この結果、出場枠を獲得した上山・重定・仲・岡崎が東京2020パラリンピック内定維持となる
- 2019 Asian Para Archery Championships & CQT 2020 Tokyo Paralympic
2019年10月19日（土）～26日（土）タイ/バンコク
派遣：選手11名・スタッフ7名
主な結果：重定 RC 女子金メダル・RCMIX（上山・重定）銀メダル・CP 男子団体銅メダル（安島・大塚・宮本）CP 女子団体銅メダル（平澤・永野・篠原）・重定 RC 女子国内パラ記録更新
- 6th Fazza Para Archery World Ranking Tournament ドバイ大会 2020年2月18日（火）～22日（土） UAE/ドバイ 派遣：選手9名・スタッフ11名
主な結果：岡崎愛子 W1 金メダル・RCX（上山・重定）金メダル・CP 男子団体銅メダル

(4) 基盤整備（スポーツ技術・開発事業）

ハイパフォーマンスセンターの基盤整備（スポーツ技術・開発事業）を活用させていただき、アーチェリー競技に特化した車椅子等の専用機材の開発を行った。

(5) 2019年度メディカルチェック（加盟団体選手強化体制整備事業）

「強化指定選手・アジアパラ帯同スタッフメディカルチェック」を行った。

選手12名・スタッフ6名の参加

3、発掘・育成・普及事業

選手の発掘・育成そして普及事業として、国内大会や協力大会における情報発信のみならず、普及事業や様々な体験イベント等の開催・積極的な参加を行い、選手のメディア対応に関するサポートも行った。（詳細は「9、広報活動」にて述べる。）

また、普及事業・啓蒙活動の一環として、国内クラス分けについての理解を広げるためのセミナーも開催した。（詳細は「5、国際クラス分け、アンチ・ドーピング事業」にて述べる。）

4、倫理・コンプライアンス事業

強化事業のさらなる充実とガバナンス強化のために、日常における活動とともに以下の活動を行った。

(1) 理事会・評議委員会の開催

社員総会： 6月15日（土）大阪・舞洲

前期理事会： 9月7日（土）さいたま市

臨時理事会： 9月28日（土）盛岡市

後期理事会： 3月21日（土）名古屋市

(2) 啓蒙活動

●主に強化合宿等時に代表選手に対し、メディア対応やSNS使用に際しての研修・インテグリティ研修・ケアやコンディショニング・栄養学の講習など様々な形で啓蒙活動を行った。

●クラス分けキャラバン開催に加えて、審判・指導者・選手等、国内クラス分けの理解者を国内に増やすためのセミナーを開催した。（詳細は「5、国際クラス分け、アンチ・ドーピング事業」参照）

(3) ガバナンスコード順守のための体制づくり

2019年12月23日（月）ガバナンスコード説明会/ パラリンピックサポートセンター

2名が出席。なおガバナンスコードに沿った組織強化策の一環として、2020年度より日本財団パラリンピックサポートセンター助成事業を活用し、新たに事務局員1名を採用した。

(4) 倫理委員会

コンプライアンス・倫理委員会の設置を急ぎ、当連盟の役職員を対象に継続的なモニタリングを行う。

5、国際クラス分け、アンチ・ドーピング事業（加盟団体選手強化体制整備事業）

当連盟では「国内選手権大会に出場する選手全員が国際・国内クラス分けカードを持つこと・クラス分けに関する情報発信の場を確保すること」を目標に、2017年度より全国大会に合わせ「全国行脚」で国内クラス分けキャラバンを実施している。今年度4回の開催を終え、これまで国際・国内のクラス分けを受けた選手は59名（うち海外で取得1名）となった。

また、審判・指導者・選手等、国内クラス分けの理解者を増やすためにクラス分けセミナーを開催した。

しかしながら、特に地方における「クラス分け」の必要性・理解はまだ充分とは言えず、全日本アーチェリー連盟等関係諸機関との幅広い連携も模索しながら、全国的な普及を今後も努めてゆく。

なお国際クラス分けワークショップ（筑波大）に当連盟クラシファイヤーが参加、知見を広め重要項目の再確認を認識する。

(1) 国際クラス分け事業

① 国際クラス分けワークショップへの出席

2020年2月1日(土) 日本障がい者スポーツ協会

「2019年度競技団体クラス分け担当者連絡会議～国際クラス分けワークショップ(基本編)」

に当連盟国内クラス分け委員2名が参加

国際クラシファイヤーによる講義を聴講し、他競技の参加者との情報交換を行った。データ管理のセキュリティや本人への意思確認の重要性なども再確認し、選手の今後の人生に大きく関わる事柄であることを再認識した。今後も強い責任感を持って関わってゆく。

② 国内クラシファイヤー養成

2020年1月18日(土) 19日(日)

2019年度クラス分けセミナー 福岡県/グローバルプラザ創作工房

クラシファイヤー3名(うち1名連盟スタッフ)

審判・障がい者スポーツ指導員など16名の参加

③ クラス分けキャラバン

●第1回 2019年5月18日(土)・19日(日) 関連大会:「のじぎく杯」兵庫県/神戸市中央体育館・しあわせの村アーチェリー場 クラシファイヤー3名(うち1名連盟スタッフ) クラス分けを受けた選手:10名

●第2回 2020年9月7日(土) 関連大会:「JPAF杯」埼玉県 埼玉県障害者交流センター 会議室・グラウンド クラシファイヤー3名(うち1名連盟スタッフ) クラス分けを受けた選手:8名

●第3回 2019年9月28日(土)・29日(日) 関連大会:「全国身体障害者アーチェリー選手権フェニックス岩手大会」岩手県 ふれあいランド岩手会議室・陸上グラウンド クラシファイヤー3名(うち1名連盟スタッフ) クラス分けを受けた選手:4名

●第4回 2020年1月18日(土)・19日(日) 関連大会:「九州身障インドア大会」福岡県/クローバープラザ クラシファイヤー3名(うち1名連盟スタッフ) クラス分けを受けた選手:5名

なお上記1～5等の事業に対し、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会・独立行政法人日本スポーツ振興センターの競技力向上事業の選手強化・体制整備事業の助成金を受け活動した。

●国際クラス分けセミナー参加

2019年5月31日(金)・6月1日(土) World Archery Classification seminar 2019/オランダ (世界選手権に絡めて開催)

国内クラシファイヤー2名が参加 加藤真弓・石川舞

6、国内大会の開催

本年度は2つの主催大会・6つの後援大会・その他協力大会を開催した

(1) 主催:2大会

- JPAF 杯パラアーチェリートーナメント大会 2019 年 9 月 8 日（日）埼玉県障害者交流センター/運動場 出場選手 36 名
- 文部科学大臣杯争奪 第 48 回全国身体障害者アーチェリー選手権大会 フェニックス岩手大会 2019 年 9 月 29 日（日）ふれあいランド岩手 出場選手 44 名

（2）後援大会・協力大会

以下の事業につき、スタッフ派遣や運営支援などを行った。

- のじぎく杯アーチェリー競技大会 2019 年 5 月 19 日(日) 兵庫県/しあわせの村アーチェリーレンジ 出場選手 64 名
- 第 23 回長野県障害者アーチェリーオープン大会 2019 年 6 月 2 日(日) 長野県・松本平広域公園陸上競技場 出場選手 30 名
- 第 39 回近畿・東海障害者アーチェリー大会 2019 年 6 月 30 日（日）大阪府・ファインブラザ大阪 出場選手 31 名
- 第 40 回関東甲信越身体障害者アーチェリー大会 茨城大会 荃崎運動公園 2019 年 5 月 26 日(日) 出場選手 38 名
- 第 29 回交流アーチェリー大会 2019 年 7 月 8 日（日）埼玉県障害者交流センター 出場選手 106 名
- 第 42 回火の国杯争奪九州身体障害者アーチェリー大会 2019 年 9 月 8 日（日）熊本県/菊陽杉並木公園 出場選手 58 名
- 第 41 回中国・四国身体障害者アーチェリー競技大会 2019 年 10 月 27 日(日) 山口県/岩国市総合運動公園アーチェリー場 出場選手 39 名
- 第 33 回七沢杯アーチェリー競技大会 2019 年 11 月 3 日（日）神奈川県/神奈川県総合リハビリテーションセンターアーチェリー場 出場選手 28 名
- 2019 かもめオープンインドア大会 2019 年 1 月 20 日(日) 神奈川県/相模原市けやき体育館 出場選手 67 名

7、全日本アーチェリー連盟等、関係諸機関との協力体制の強化

以前より様々な面において協力頂いている全日本アーチェリー連盟には、相互理解の観点から、以前より拡大理事会に参加している。今後も様々な面においてさらなる連携強化に努める。

2019 年 5 月 25 日（土）全ア連拡大理事会への出席

2019 年 6 月 9 日（日）全ア連社員総会・拡大理事会への出席

8、全日本アーチェリー連盟主催の全国大会における当連盟所属選手の活躍

第 52 回全日本社会人ターゲットアーチェリー大会 2019 年 6 月 22（土）・23（日）

当連盟より 4 人の選手が出場、CP 女子において永野選手が優勝。

9、広報活動

東京 2020 パラリンピック開催の機運を生かし、選手がより活動しやすいよう競技の魅力を幅広く伝え、さらには選手発掘・スポンサー獲得等の事業基盤整備推進に繋げていくための広報活動を行った。具体的には、これまでのホームページ・Facebook・ポスター・小冊子に加え、昨年度「日本財団パラリンピックサポートセンター助成事業」により作成したリーフレット・連盟ステッカー・バックボードを活用。また、facebook のより積極的な活用・ツイッターと Instagram における情報発信開始といった SNS を利用した活動も行った。

(なお強化選手に対しては円滑にメディア対応・SNS 発信ができるように研修も行った。)

同時に、選手発掘に繋がるような各種体験会にも積極的に参加した。

(1) ホームページ・公式 Facebook の活用

HP では試合要項・試合結果やメディア掲載の確実な発信。

Facebook では合宿・国際試合における臨場感あふれる選手の様子や Live 配信 URL の紹介も積極的に行った。

公式 Facebook

<https://www.facebook.com/paraarcheryjapan>

(2) 連盟ツイッター・インスタグラムアカウントの開設

今年度初めての試みとして、より多くの方々に興味を持っていただくために開設。

内容は公式 Facebook に準じたもの。

・twitter

@para_archeryjpn

https://twitter.com/para_archeryjpn

・Instagram

para_archery_japan

https://www.instagram.com/para_archery_japan/

(3) 普及活動・体験イベント

●パラアーチェリー体験交流会 2019 年 5 月 15 日 (水) 千葉県/浦安市運動公園アーチェリー場
第 1 回強化合宿中には、地元小学生 (浦安市立美浜南小学校 6 年生) 約 50 人が参加したパラアーチェリー体験交流会を開催。約 1 時間 30 分という短時間だったが選手との質疑応答もあり、選手との小学生のふれあい・実射含めたパラアーチェリーの魅力紹介と終始楽しい雰囲気の中で行われた。なお美浜南小学校 6 年生の皆様 (全員) からは応援メッセージもいただいた。また、テレビや新聞等のメディアによる取材も同時に行われた。

(参考)

美浜南小学校様 HP「パラリンピック・アーチェリー日本代表と」

<http://www.city-urayasu.ed.jp/mihmi-es/3009273/3010057.html>

浦安市様 HP 「パラリンピックアーチェリー日本代表が市内小学生と体験交流会」

<http://www.city.urayasu.lg.jp/shisei/koho/topics/1025179/1026512/1026596.html>

(合宿内容は「2、強化（競技力向上）事業（3）国内強化・選手選考（選手強化活動事業）」に記載）

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催 東京 2020 パラリンピック 1 年前イベント「東京 2020Lets55」2019 年 8 月 24 日（土）墨田区総合体育館
（宮本選手・大山選手のデモンストレーション）
- ParaFes 2019（パラフェス 2019）2019 年 11 月 16 日（土）武蔵野の森アリーナ
（上山選手・岡崎選手のデモンストレーションとトーク、アーチェリー体験会の開催）

(4) メディア出演

- パラサポ WEB 2019 年 7 月 18 日
「東京 2020 大会成功に向けたテストイベント「READY STEADY TOKYO-アーチェリー」にパラ選手も参戦」
<https://www.parasapo.tokyo/topics/19405>

（上山選手・重定選手）

- NHK/BS1「パラ×ドキッ！」2019 年 8 月 24 日「アーチェリー上山友裕 高得点連発！スゴ技と際立ちキャラ」
<https://www.nhk.or.jp/docudocu/program/5630/2795018/index.html>

（上山選手）

- 東京 2020 オリパラ選手団公式服装 記者発表 2020 年 1 月 23 日
JOC「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 日本代表選手団公式服装（開会式用・式典用）を発表」
<https://www.joc.or.jp/sp/news/detail.html?id=12316>

（上山選手）

- NHK ハートネット TV 「パラマニア」2020 年 2 月 3 日（月）～
（NHK for school にてネット視聴可能）
第 1 回「足や〇〇で弓を射る？」
https://www.nhk.or.jp/tokkatsu/paramania/?das_id=D0005170591_00000
第 2 回「道具のプロフェッショナル」
https://www.nhk.or.jp/tokkatsu/paramania/?das_id=D0005170592_00000
第 3 回「推し選手は誰だ！」
https://www.nhk.or.jp/tokkatsu/paramania/?das_id=D0005170593_00000

（上山選手・岡崎選手・大塚選手・重定選手）

- NHK「武井壮のパラスポーツ真剣勝負」2020 年 1 月 14 日

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/hirumae/paraspo/20200214.html>

(永野選手・宮本選手・島田コーチ)

(5) 機関紙「なかま」

連盟の一般会計（会員費より）2回発行。2回／年
パソコン環境のない会員及び関係機関に送付。